



CONTENTS

特集コーナー	2
使える！ 行政情報& 研究・技術の参考情報	3
地域発NEWS	4~7
地域のこの人	8
国有林野所在	9
市町村の魅力紹介	
新任者紹介	10~11



大鳥池から見た^{いとうだけ}以東岳（山形県鶴岡市）〔提供：庄内森林管理署〕

以東岳（標高1,772m）は、磐梯朝日国立公園の出羽三山・朝日地域に属し、日本二百名山及びやまがた百名山に選定されています

4月14日、「令和8年度東北森林管理局の取組」を公表しました。国民の森林を未来につなぐため、公益重視の管理経営を一層推進するほか、木材の安定供給、民有林支援等の様々な取組を展開しています。

本稿では、特に重点的な取組を紹介します。

1. 再造林の着実な実施

「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を推進するため、林業生産活動に適した人工林を「特に効率的な施業を推進する森林」としてゾーニングし、当該地域を中心に主伐・再造林に取り組みます。再造林にあたっては、成長に優れ、花粉の少ない苗木（特定苗木）を積極的に活用し、林業の省力化や低コスト化を図るとともに、スギ花粉発生源対策にも貢献していきます。

2. 災害に強い森林づくり

豪雨等による山地災害が激甚化・頻発化する中、迅速な被害調査や適切な災害対策の実施と併せて、災害に強い森林づくりを進めます。

また、山形県西川町においては、今年度から直轄地すべり防止事業に着手します。地すべり防止対策には高度な技術が求められることから、山形県知事の要請を受け、当局で実施することとなりました。

地域の安全・安心な暮らしを守るため、効果的な対策を推進していきます。



上小沼地区地すべり（全景）

3. 森林病虫獣害対策

近年、病虫獣害が急速に拡大していることから、被害の拡大防止に向けた取組を推進します。

特に、分布域が拡大しているニホンジカ対策については、自治体との協定に基づく国有林内への残渣処理設備の設置等による捕獲支援のほか、生息状況の把握及び情報提供に取り組めます。

また、クマ被害への対応として、緩衝林帯の整備やワナ設置箇所の提供など、市町村からの要望を踏まえ、地域と連携した取組を進めます。



大型排水管を利用した残渣処理設備

4. 国有林材の安定供給と流通の効率化

地域の需給状況を踏まえ、安定供給システム販売等を通じて、国有林材を安定的に供給します。

また、丸太を山から直接製材工場等へ運搬し、原木選別機で数量を確定する「直送システム販売」を管内各県に拡大し、流通の効率化を進めます。



トラックに木材を積載する様子

令和8年度の取組は、当局ホームページにも掲載しております。

<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/topics/attach/260414.html>



山地災害危険地区について

令和7年の山地災害被害は、被害箇所数695箇所、被害額約335億円であり、被害額の対前年同期比は39%となっています。(※前年の令和6年は能登半島沖地震や各地で豪雨災害が相次いだ年。)

日本の国土は、急峻な地形と川の幅が狭く急流が多い特徴があります。また、地震や火山活動も活発であり、年間降水量も世界平均の2倍ときわめて雨が多いことから山くずれや土石流、地すべりなどの山地災害が起こりやすい特性があります。そのため、私たちは普段から災害に備えておく必要があります。その一つとして「山地災害危険地区」を知っておくことも大事だと考えます。

山地災害危険地区とは、山地災害の発生するおそれのある地域を林野庁が定める調査要領に基づき判定したもので、その予想される災害形態により次の3種類に区分されます。

1. 山腹崩壊危険地区（山腹崩壊や落石）
2. 地すべり危険地区（地すべり）
3. 崩壊土砂流出危険地区（山腹の崩壊や地すべりによって発生した土砂などが土石流となって流出する災害）

山地災害危険地区の情報は、東北森林管理局のホームページに掲載されています。また、現地には看板が設置されていますので、お住まいの山地



崩壊土砂流出危険地区において施工した
コンクリート谷止工（秋田県南秋田郡五城目町）

災害危険地区の情報をご確認いただき、今後起こりうる災害に備えてください。

東北森林管理局
管内の山地災害
危険地区



令和7年の山地災害の発生状況
(林野庁サイト)



ご関心のある方は、東北森林管理局治山課へお問合せ下さい。

超緩効性肥料を用いたエリートツリー等コンテナ苗の活用

全国の国有林全体で横断的に取り組む技術開発課題として、下刈回数の縮減による造林の省力化・低コスト化が期待され、供給体制の整備が進むと見込まれるエリートツリー等コンテナ苗（特定苗木^{※1}を含む）を用いた試験を、東北森林管理局管内の国有林3箇所に設定する予定です。

エリートツリー等コンテナ苗は、成長初期に十分な栄養が必要と想定されます。そこで、植栽後



コンテナ移植前の特定苗木

も効果が持続する超緩効性肥料^{※2}を育苗期に施した苗を用い、施肥による成長促進効果、植栽適地、下刈作

業の省力化などについて検証します。試験は、5年後の実用化を念頭に、令和7年度から令和11年度まで実施します。

令和7年度は、山形森林管理署最上支署管内の国有林に試験地を設定し、山形県で生産された特定苗木を植栽しました。植栽直後には、苗木の高さや根元の太さ等を計測し、初期状態を記録



植栽後の特定苗木

しました。今後は、施肥の効果や下刈省略による造林コストの削減、植栽適地などについて検証を進め、エリートツリー等コンテナ苗の普及を目指します。令和8年度の春には、秋田森林管理署管内および三八上北森林管理署管内に新たな試験地を設定する予定です。

※1 特定母樹由来の苗木。特定母樹はエリートツリーの中でも特に優良な性質を備えた個体。

※2 長期間効果が持続する肥料。

ご関心のある方は、森林技術・支援センター
(TEL:0173-57-9022)へお問合せ下さい。

地域発NEWS

(治山・林道事業の取組)

各(支)署・センターでは、集中豪雨や台風等により被災した山地の復旧整備、機能の低下した森林整備等を推進したり、森林の整備・保全や林産物の供給等を効率的に行うための路網整備を推進したりしています。

仙台海岸林のクロマツの成林に向けて

宮城

仙台森林管理署

東日本大震災から15年が経過し、震災後に誕生した児童が中学校の卒業式を迎えたと話題になりました。仙台海岸に植栽されたクロマツも植栽から5～13年経過し、人の背丈を超える程に成長するマツも出てきましたが、まだまだ管理が必要な青年段階です。

現在クロマツの成長を阻害するもっぱらの天敵がクズになります。クズは生長が早く、たった1年でクロマツに巻き付いて木を変形させたり、すっぽりと覆いかぶさり成長に必要な光を遮断して枯らしてしまいます。ちなみに和菓子で有名なクズ餅は、元来このクズの根から取れるデンプンで作られています。クズ粉のためにクズを取りたい人がいればぜひとも大歓迎なのですが、非常に手間ひまがかかるそうで、クズを取りたいとの話は耳にしたことがありません。

これまでは人力でクロマツに絡みつクズの除去をしてきましたが、400haもの大面積を地道に人力で行っていくには限界になってきました。そのため、ドローンで除草剤を散布することを検討しています。ドローンでの散布は短時間で大面積の除草剤を散布できるので非常に画期的ですが、除草剤が区域外に飛んでいかないよう適切な飛行範囲を考えたり、近隣の田畑状況を確認し、影響があると思われる箇所は散布しないことはもちろんのこと、事前に関係者へ説明を丁寧に行い、安心安全を確保しながら行っていく予定です。

クズや病害虫に負けずにクロマツが一人前となる成林までは20年以上の年月を要しますが、成林する頃に地元の方々が、仙台海岸林をすばらしい海岸林と誇れるように日々管理を頑張っていきます。



仙台海岸のクロマツ林



クズに巻き付かれてしまったクロマツ



クズお化けのようになってしまった松林



薬剤散布(イメージ)

地域発NEWS

(森林整備等の取組)

完全な安全はない「だからこそ安全第一」

山形

山形森林管理署最上支署

「林業」という分野は森の中で木を伐採したり、苗を植え、育てるための施業をしたりと、多くの労働者が関わっています。特に自然界の中で仕事をしているので、色々な手順や決まり事がありますが、その中で労働者のちょっとした不注意や、不可抗力によって災害が発生する場合があります。

このことから、山形森林管理署最上支署では労働災害の防止の観点から「労働災害防止協議会」を開催しています。昨年度、当支署で災害発生があったことから、今年度は事業開始前の春期と中盤期の秋期に2回開催することとしました。

4月に開催した1回目の協議会には、製品生産・造林事業請負、治山・林道事業工事の受注者、約80名が出席しました。

冒頭、当支署長より、事業者の方々に令和7年度の災害状況の概要について説明があり「災害発生にはいくつもの要因が重なって発生している事から守るべきことは必ず守る・守らせる、してはならないことは絶対にしない・させない」という認識のもと事業者の代表及び現場代理人へ要請がされました。

また来賓として当管内を管轄している新庄労働基準監督署の労働基準監督官より、安全指導の講義を受けました。その中で「やはり人というものは慣れが生じると、それが災害を誘発する。日頃のKYの再徹底を」との話がありました。

林材業労働災害防止協会山形県支部事務局長からは、災害状況の現状について説明がされ「特に木を伐採したり造材を意味する伐木作業についてはリスクがあるので、手順や緊張感をもって実践していく必要がある」との事で、災害の7割を占めているとのことでした。最後に当署から、昨年

各(支)署・センターでは、植栽、保育、間伐等の森林整備を適切に行うことで、健全な森林を造成し、資源の循環利用を推進したり、地域の木材の安定供給体制を構築するため、製材・合板工場等の需要者と協定を締結したりしています。

度全国的に災害が多かった重機の災害について、重機の転倒に関する「転倒モーメント」について説明があり、出席者へ質問する形で行われ、アームでつかむ重さや機体の傾き、機体自重と転倒支点の関りについて説明がありました。参加された方々はモーメントの計算式を深く理解をされている様子でした。最後に、どの分野にも完全な安全はありません。だからこそ安全第一でなければならず、こういった安全講義を通じ、地域の林業事業者の皆さんと共に構築していきます。



最上支署長のあいさつ



労基署及びび林災防の講義の様子



森林技術指導官による転倒モーメントの説明

地域発NEWS

(病虫獣害対策・森林生態系保全等への取組)

各(支)署・センターでは、希少な高山植物や生態系への脅威となる深刻な病害虫や動物による森林被害への対策を推進したり、森林生態系の保全・管理や自然再生、希少な野生生物の保護等をしてしています。

シカ被害と森づくり-豊かな森林を未来に繋ぐ-

岩手

三陸中部森林管理署

わたしたちは岩手県南東部に位置する大船渡市等の3市2町にまたがる国有林を管理しています。この地域は、陸地の約9割を森林が占め、世界三大漁場の一つである三陸沖に面しているなど、豊かな山と海の自然が広がっています。また、森林と地域の歴史との結びつきも深く、江戸時代からの伝統を持つ「気仙大工」とよばれる匠集団のふるさとであるほか、この地域で生産される良質なスギは気仙スギと呼ばれ、地域内外で親しまれています。

国有林の森林管理業務では、木材を生産する林業や貴重な森林生態系の保全などを行っており、これらを通じて森林や水源を守り、地域の山や海の豊かさを支えています。とくに林業は、木を植え、長い年月をかけて育て、伐採・利用し、新しく植える、といったサイクルを繰り返すことで、豊かな自然を将来に残すことができます。わたしたちは日々の業務の中で、先輩方が育てた森林を引き継ぎ、未来へ繋ぐ役割を担っています。しかし、自然を相手にする林業では、様々な困難もあります。

その一つが、ニホンジカによる森林被害です。

管内ではシカの生息数が増え続け、生息数と餌資源量のバランスが崩れたことなどにより、山に植えた木がシカに食べられ、森林を育てることが難しくなる被害が深刻となっています。とくに植栽後の若い木はシカに食べられやすく、被害が大きいいため、国有林では20年ほど前から様々な対策を行ってきました。具体的には、造林地の周りに防鹿柵を設置し植栽地を面的に保護する方法や、植えた木一本ずつに保護資材を設置する方法、植栽した木にシカが嫌がる薬剤である忌避剤を散布する方法を行っています。また、これらは、対策に必要な費用や、設置・維持管理にかかる労力面で一長一短があることから、対策の実施と合わせて、費用と効果の検証など、有効な対策を模索するための知見の蓄積を進めています。

当署管内の山々には、伝統・文化に根づいた気仙スギや、アカマツ、ブナ・ナラ等をはじめとする広葉樹、岩手県が日本屈指の生産量を誇るカラマツなど多様な森林が息づいています。これら豊かな森林を守り、持続可能な林業を行うためにも、引き続きシカの被害対策に取り組み、効果の整理や地域との情報共有を進めたいと考えます。



4月の大船渡湾
森の養分が川を通じて海まで運ばれ豊かな漁場となります



シカ食害を受けたカラマツ



防鹿柵による被害対策の様子

地域発NEWS

(ふれあい・管理・総務等の取組)

あつまれ! 鳴子ダム2025

宮城北部森林管理

宮城

当署管内にある鳴子ダムは、約6年かけて昭和32年10月に完成した多目的ダムで、東北地方で初のアーチダムです。また、日本で初めて外国の技術者に頼らず日本人だけで作られたダムとして有名です。

昨年7月に大崎市鳴子温泉の荒雄湖畔公園にて、「あつまれ! 鳴子ダム2025」が開催されました。これは毎年恒例行事として行われておりますが、令和6年度は豪雨により急遽中止となってしまい、令和5年度以来の2年ぶりの開催となりました。

本イベントは、「森と湖に親しむ旬間」期間中に行われ、森林やダム及び河川の大切さや重要性について多くの方々に関心を持っていただくために国土交通省を始めとした関係機関と協力して開催しているイベントであり、当署は「親子森林・木工教室（巣箱を作ってみよう）」を担当させていただきました。

イベント当日には、夏の猛暑にも関わらず家族連れを中心に沢山の方々にご参加いただき、誠に嬉しい限りです。

当署の巣箱づくりブースでは、毎年10組の定員募集枠を埋めるほど盛況で、今回も10組の親子にご参加いただきました。若手を中心とする職員の優しい指導のもと、トンカチを使ったことが無く、慣れない手つきの子供たちは、板を仮止めて釘を打つ作業に苦戦しながらも、何とか巣箱の形にしていき、「そうそう、上手い上手い!」といった声の中で楽しんで頑張っている様子でした。最後は蓋にする板に金具を取り付ける作業を行い完成させますが、節のところにネジを付けると苦戦の原因になり、悪戦苦闘しながらも集中して取り掛かっている様子でした。そして、親子で

各（支）署・センターでは、森林環境教育のプログラムの整備やフィールドの提供などによる「森林環境教育」の取組を推進したり、観光資源としての活用等を通じて国民に開かれた管理経営を推進したり、地域産業の振興や住民の福祉の向上等に貢献するために、地元住民等に対して国有林野の貸付を推進したりしています。

協力しながら自分達だけの巣箱を完成させることができ、達成感に溢れた親子の笑顔が見えました。この巣箱づくりは、子供たちにもっと木材に触れる切っ掛けとなるように来年度以降も継続していこうと考えています。

他の機関では、「親子ダム湖探検ツアー」、「森とあそぼう!」、「手づくり体験・ペットボトル万華鏡」、「チャレンジ! スナッグゴルフ」、「イワナのつかみどり」を行っていて何処も賑わいを見せていました。

今後も、関係機関と協力しながら森林やダム及び河川の大切さや重要性についてPRに努めて参ります。



親子で協力して作成中



巣箱作成中!



完成した巣箱

森林や林業の仕事の魅力とは?!
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」や森林
管理署等で働く人の紹介です。

森を守る仕事は事務所にも

山形

山形県森林組合連合会
温海町森林組合 五十嵐 董さん

当組合は山形県の西南端、新潟県境に位置する温海地域にあります。三方を豊かな山々に囲まれ、西側には海岸線が続く、自然あふれる地域です。東京で育ち、結婚を機に温海地域に移り住んだ私は、『この素晴らしい景色を残したい』と思い、入組して1年が経ちました。

普段は事務所で、林業資材や製材品の仕入れや販売に関する業務を行っていますが、業務の中心となるのは昨年度新たに始まった、フォレストフィールセミナーの企画・運営です。これは年間7回のプログラムを通して森林整備の必要性や森林資源の有効活用などを知ってもらうためのイベントです。座学だけでなく、実際に手足を動かしながら学び、五感で体感してもらうことをモットーにしています。『森林を整備する大切さ、その作業をしてくれる人がいるということを知れた』『初めて森林の中で深呼吸する気持ちよさに気づいた』などと嬉しい声が聞こえ、地域林業の振興や普及啓発に貢献できていると実感しました。

森林組合への就職は森林内での作業がほとんどだと思いがちですが、事務所での業務は組合運営になくてはならない縁の下の力持ち的存在だと思います。あなたも地域の林業を支え、その景色を後世に残してみませんか？



フォレストフィール
セミナーの様子

社会人経験者枠で入庁してみた

岩手

盛岡森林管理署
地域技術官 中村 芳彦さん

盛岡森林管理署の管轄する国有林は、盛岡市、滝沢市、岩手町、雫石町、矢巾町、紫波町の2市4町にあります。盛岡市の北西にある県内最高峰の岩手山の麓では温泉が湧いていて、国有林内では地熱発電も行われています。山岳部ではブナを主体とする様々な広葉樹が分布しており、里山に近くなるとスギ、カラマツ、アカマツ等の人工林が広がっています。

私は令和7年度に社会人経験者枠で入庁しましたが、前職では林業に携わっていた経験もあり、業務グループに配属となりました。担当業務では、木を伐った跡地へ苗木を植林したり、植林した苗木を育てていく造林事業、樹木を枯らしてしまう原因の一部である森林病害虫がこれ以上広がらないように駆除や防除作業を行う保護事業、地域の方々に国有林をとおして森林の良さを知ってもらう、森林ふれあいを担当しています。

入庁から1年が経過する今年度より、私が主となって担当業務を進めていくこととなったため不安はないとは言えませんが、相談できる上司や同僚がいる事や、今までの社会人経験を活かしている事で毎日意欲的に仕事に向き合えています。

これから転職を考えている方で、私のように国有林という大自然を相手に仕事がしてみたい方はぜひ林野庁を受けてみて頂きたいです。



造林事業請負完了検査の様子(植付事業)

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。



山形県東置賜郡高畠町

置賜森林管理署

人口 20,761人 (R8.4.1現在) 面積 180.26km²

市町村の木 赤松 市町村の花 つつじ

山形県南東部に位置する高畠町は、食の宝庫。ぶどうやラ・フランス、日本酒などの特産品に恵まれ、地元ワインも人気です。四季折々の美味しさが詰まった、味わい豊かな町です。

山形県南東部に位置する高畠町は、自然と歴史、食の魅力に恵まれた町です。

町の四方を山々に囲まれ、四季折々の美しい風景が広がっています。豊かな森林に育まれた水は、地域の暮らしや農業を支え、里山の風景を形成しています。自然と人の営みが調和した穏やかな環境が魅力です。

ぶどうやラ・フランスなど果樹栽培が盛んで、デラウェアの生産量は日本有数を誇ります。地元ワインや日本酒も人気で、豊かな味覚を楽しめます。

有機農業の先進地としても知られ、自然の恵みを活かした農産物が数多く生産されています。

四季ごとに異なる旬の味覚は、訪れる人々を魅了しています。



様々な種類のぶどう

町内には、採石場跡を活かした瓜割石庭公園や、約6キロにわたる桜並木の「まほろばの緑道」など、自然と調和した景観が広がっています。春の桜や秋の紅葉など、季節ごとに異なる魅

力を楽しむことができます。散策やサイクリングを通じて、ゆったりとした時間を過ごせる環境が整っています。



瓜割石庭公園



まほろばの緑道の桜並木

安久津八幡神社や歴史公園など文化資源も豊富で、地域の歴史や暮らしに触れることができます。地域に根付いた伝統行事や人々の温かさに触れることで、この町ならではの魅力を感じることができます。訪れる人それぞれの特別なひとときをお楽しみいただけます。



近隣で唯一の層塔 安久津八幡神社の三重塔

より詳しい市町村の魅力はこちらから→



お問合せ先：高畠町商工観光課 Tel. 0238-52-2019

新任者

紹介

次長

小林 重善

出身：秋田県
前職：北海道森林管理局
計画保全部長



6年ぶりに秋田に戻ってまいりました。この10年ほどでスキーだけでなく、カヌー、登山、野球（ソフトボールも可）などスポーツも適度にやっています。素人ですがよければ数合わせに呼んでください。なお、予定のない土日は横手で農作業です、あしからず。

企画調整課長

渋谷 昂大

出身：秋田県
前職：林野庁国有林野部業務課
企画官（森林環境改善）



東北局での勤務は初めてですが、中高時代は大仙市、大学時代は盛岡市で過ごしました。前職では森林整備や木材利用の促進等に関する業務に従事しておりました。これまでの経験を活かし、幅広い業務に対して前向きに取り組みたいと思っています。

総務課長

福士 忍

出身：青森県
前職：保全課長



総務課長を拝命しました福士です。2年9か月ぶりに戻ってきたわけですが、長くなった局内勤務の経験も活かし、安全で健康を第一とした風通しの良い職場づくりに努めたいと考えておりますので、引き続き、よろしく願いいたします。

保全課長

神成 悟

出身：秋田県
前職：保全課企画官
（土地利活用管理）



保全課長を拝命しました神成です。当課の業務は再エネ事業を中心に国有林野の活用相談が年々増しております。風通しの良い職場環境づくりを心がけ、課内職員一丸となり取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。

技術普及課長

田中 邦子

出身：岩手県
前職：津軽白神森林生態
系保全センター長



このたび2年ぶりにまた技術普及課に勤務することになりました。林業の省力化、低コスト化等に向けた技術開発、普及、森林環境教育やふれあい活動などに皆様のご協力を賜りながら取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

津軽森林管理署長

寺村 智

出身：和歌山県
前職：北海道森林管理局
計画保全部計画課長



初めての東北局勤務となります。これまで5年間は、計画編成が主な業務でした。津軽の国有林が持続的に地域に貢献していけるよう、ない知恵を絞りながら職員みんなで一生懸命に頑張っていきたいと考えています。

青森森林管理署長

山田 亨

出身：埼玉県
前職：津軽森林管理署長



弘前の津軽森林管理署から、青森森林管理署へ異動となりました。山と海とが近い、ヒバがある、県庁所在地、などによる新たな業務もございますが、これまでの経験を活かし、風通しの良い職場づくりを進めますので、今後ともよろしくお願い致します。

下北森林管理署長

春日 正人

出身：秋田県
前職：技術普及課長



下北森林管理署長を拝命した春日です。再び下北地域で勤務する機会を頂きました。これまで培った経験と知識、そして皆様とのご縁を大切にしながら、下北の森林管理に貢献できるよう、職員と共に取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

三八上北森林管理署

泉 光博

出身：岩手県
前職：宮城北部森林管理
署長



青森での勤務は三十六年ぶりとなります。豊かな自然環境と森林資源に恵まれた三八上北の国有林において、地域との連携を大切にしながら、森林・林業施策に取り組んでまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

三陸北部署長

山崎 隆治

出身：熊本県
前職：林野庁林政課会計経理
第1班 担当課長補佐



三陸北部森林管理署長を拝命しました山崎です。東北森林管理局での勤務は初めてとなります。まずは局署等職員の顔と名前を覚えながら、管内の国有林と各市町村の状況を把握し、国有林野の管理経営にしっかり取り組んでまいりますので、よろしくお願い致します。

久慈支署長

村上 健児

出身：長野県
前職：企画調整課監査官



久慈地域での勤務は初めてとなりますが、職員との対話を大切に、一丸となって業務を進めるとともに、国有林が地域に必要とされる組織であることを念頭に置き、市町村と連携した業務運営に努めてまいりたいと考えております。よろしくお願い致します。

三陸中部森林管理署長

岩間 由文

出身：長野県
前職：朝日庄内森林生態系
保全センター所長



三陸中部森林管理署長を拝命しました岩間です。岩手県三陸沿岸での勤務は初めてとなります。地元自治体や関係団体そして職員の皆様と連携して地域に貢献できるよう努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

盛岡森林管理署長

志磨 克

出身：山口県
前職：岩手南部森林管理
署長



盛岡森林管理署長に着任しました志磨です。前職から北隣の署への近距離異動で、引き続き岩手県勤務となります。県や各種団体との関わりも多くなりますが、関係者と連携しながら各課題に取り組んでまいりますので、よろしくお願い致します。

岩手南部森林管理署長

浜浦 武昭

出身：青森県
前職：林野庁森林整備部治山課
施設実行班担当課長補佐



盛岡署から林野庁に異動して以来15年ぶりに帰ってきました。どうぞよろしくお願い致します。まずは早く管内の状況を知るとともに管内市町等の声をよく聞き、ニーズに応じた業務運営が行っていきけるよう職員とともに取り組んで参ります。

宮城北部森林管理署長

笠井 修一

出身：茨城県
前職：置賜森林管理署長



宮城県での勤務は初めてですが、奥羽山脈から太平洋側まで豊富な自然環境と森林資源に恵まれた当地において、国土強靱化と生物多様性に配慮した持続可能な森林管理を通して、地域から信頼される国有林を目指します。皆様よろしくお願い致します。

仙台森林管理署長

上野 真一

出身：岩手県
前職：林野庁国有林野部
業務課企画官



釜石市出身ですが、東北局管内の業務は今回が初めてです。仙台署は海岸線から奥羽山脈まで多様な森林を管轄しており、関係者の皆様との連携により、これらの森林の管理経営を行っていきたく考えていますので、よろしくお願い致します。

米代東部森林管理署長

鉢村 勉

出身：栃木県
前職：林野庁業務課課長補佐
(供給対策班担当)



平成13年に本庁へ異動して以来、24年ぶりの東北局勤務です。米代東部署内には過去に勤務した経験もあり懐かしさと同時に、当時とは違う面も多いので、今現場で何が求められているかをしっかり見て、信頼される国有林となるよう取り組みます。

上小阿仁支署長

鳴海 徹

出身：青森県
前職：東北森林管理局総務課
企画官（安全衛生）



米代東部森林管理署上小阿仁支署長を拝命しました鳴海です。地元自治体や関係機関と連携し、管内の豊かな森林資源を活かした森づくりに、職員と共に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

山形森林管理署長

山口 孝

出身：青森県
前職：盛岡森林管理署長



岩手県から山形県へと東北局管内での異動となりました。山形署においては蔵王山の枯損したオオシラビソの再生に向けた取組等課題も多いと伺っていますが、地域に寄り添った国有林の管理経営に努めてまいりますのでよろしくお願い致します。

置賜森林管理署長

金 晃弘

出身：秋田県
前職：三陸中部森林管理
署長



置賜森林管理署長を拝命いたしました金です。置賜森林管理署での勤務は2回目となります。地元自治体や関係団体等と連携・協力しながら、信頼される国有林となるよう職員と共に取り組んで参りますので、よろしくお願い致します。

津軽白神森林生態系保全センター長

小林 未知子

出身：京都府
前職：東北森林管理局森林整備部
企画官（技術開発・普及）



世界遺産白神山地を通じた多様な関係者の皆さまとの繋がりを大切にしながら、巡視員、ボランティア団体の皆さまのご協力を得て、白神山地の貴重な生態系の管理・保全、自然再生活動に取り組んでまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。

朝日庄内森林生態系保全センター長

森川 秀和

出身：秋田県
前職：東北森林管理局計画保全部
治山技術専門官



朝日庄内森林生態系保全センター所長を拝命しました森川です。山形県内での勤務は初めてとなりますが、朝日山地森林生態系保護地域の保全管理を主体とし、森林環境教育や庄内海岸林の森林整備活動の支援等の取組を進めてまいります。

森林技術・支援センター長

澤藤 和利

出身：秋田県
前職：企画調整課 監査官
(保全課付)



「新しい林業」の実現に向け、林業の省力化・低コスト化の推進及び森林の公益的機能の高度な発揮を図るため、局・署・関係機関と連携しながら、先駆的な技術や手法の実証に取組み、事業への実用化を見据えた取組を進めてまいります。

岩手県大槌町の林野火災による森林被害状況の調査を行いました

岩手県大槌町の林野火災に伴う森林の被害状況を確認するため、ヘリコプターによる上空からの調査を岩手県、大槌町と合同で実施しました。調査結果は局ウェブサイトにて公開しています。

調査結果はこちら



上空から見た大槌町大槌



調査の様子

ブナの開花状況調査を実施しました

4月21日(火)、秋田市仁別字務沢国有林にて、秋田森林管理署職員がブナの花の開花状況を調査する様子を報道機関7社へ公開しました。

当局管内の調査結果は7月中旬頃に当局ウェブサイトにて公開予定です。

ブナ開花・結実調査



調査の様子

「緑の募金」活動にご協力をお願いします

「緑の募金」は、森林がもたらす豊かな暮らしを未来につないでいくために、森林体験活動などの支援に大切に活用されています。春の募金強調月間は5月31日(日)までとなっています。

公益社団法人 国土緑化推進機構
<https://www.green.or.jp/>



緑の募金
<https://www.green.or.jp/bokin/>



お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117	宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800		仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115	秋田県	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131		上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131		米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511
岩手県	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551	秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311	
	津軽白神センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164	
	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8	☎0173-57-9022	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076	
	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003	
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331	
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391	山形県	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	三陸中部署	大船渡市盛町字津野沢7-5	☎0192-26-2161	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122	
盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246		
岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131	朝日庄内センター	鶴岡市末広町23-37	☎0235-26-1841		
遠野支署	遠野市東館町7-39	☎0198-62-2670					

東北森林管理局 〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.266 ●発行日/令和8年5月 ●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。